

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | リニア時代を見据えた、北部5町村で取り組む「住んで楽しい、遊んで楽しい」地域づくり事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 下伊那北部総合事務組合 |
| 事業区分 | (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 546,000 円 (うち支援金: 409,000 円) |

事業内容

リニア開業を見据え、下伊那北部5町村連携の地域づくりの基礎資料とする北部5町村エリア白図に、5町村の各種資源（現況土地利用、農業、商業、工業、宅地エリア、観光地、主要道路等）を、1枚のなかに表示した広域地図を作製し、地域づくりの取り組むべき課題を整理した。コロナ禍のシンポジウムをオンライン形式で開催し、多くの住民に参加、視聴を促した。町村広報紙、新聞記事掲載などで周知した。



【オンラインシンポジウム会場の様子】
【目標・ねらい】

事業効果

- ① 5町村の各資源等を表示した広域地図を作製し、北部地域づくり構想の基礎データができた。
- ② 住民代表者（シンポジウムパネリスト）から、リニア駅からの交通手段・企業進出可能エリア・リモート・テレワーク可能エリア把握など貴重な意見を集約できた。
- ② オンラインシンポジウムを開催し参加者数（視聴）304名（ライブ視聴136名、YouTube配信 3/12現在 168名）

- ① 下伊那北部5町村把握地図を作製
- ② 地域づくりの検討基礎資料（広域地図）作成
- ③ 下伊那北部住民の機運を高めるシンポジウム開催

※自己評価【A】

【理由】

北部5町村エリアの広域地図を作成し、地域づくりの基礎となる、現状データの落とし込みが完成。住民参加型のオンラインシンポジウムの開催ができ、北部地域づくり構想への足掛りができた。

今後の取り組み

2年度のシンポジウムで得られた意見を広域地図に反映し、北部5町村の企画担当会議や新検討会（仮称）等で検討し、リニア開業に向けた地域づくりの具体策の検討を進める。

多くの民間事業者や住民と問題意識・目的意識を共有するための、ワークショップを開催し、行政、民間、住民が一丸となり、更に地域を前向きに作り上げる機運を高めていく。